

# ESDシンポジウム イン KOBE

本事業では、「持続可能な開発または社会づくりのための教育（ESD）」の国際的研究拠点を神戸大学に構築しようとするプロジェクトの一環として、2006年度ノーベル平和賞受賞者であるグラミン銀行総裁ムハマド・ユヌス氏を招聘し、シンポジウムを実施する。

## 背景

- ・神戸大学では、平成19年度より文部科学省現代GP事業（アクション・リサーチ型ESDの開発と推進）の採択を受け、三学部連携（発達科学部・経済学部・文学部）による「ESDサブコース」を創設し、本年4月より開講している。
- ・平成20年3月に第1回ESDシンポジウム開催し、国際的動向や国内でのESD推進の動きを整理し、学内外に向けて発信する企画として実施している。また、5月には第2回ESDシンポジウムを実施し、持続可能な社会の発展をめざす教育(ESD)の役割や今後の課題について議論を深めている。

## 企画

神戸大学では、現在国内で取り組まれているESDがともすれば環境教育に重点が置かれていることから、ESDを貧困、平和、正義、人権、倫理、健康問題等の幅広い観点を組み込んだ新しい教育カリキュラムをめざしている。今回のシンポジウムでは、貧困問題に取り組んだムハマド・ユヌス氏と賀川豊彦に焦点をあて、ソーシャルワークから、ESDの可能性を考えようとするものである。ソーシャルワークをESDにおけるE（教育）の根幹となる技術・方法論と位置付け、バングラデシュにおけるグラミン銀行を中心とした取組みと神戸や東京を拠点として活動した賀川豊彦の事例から、経済活動と地域活動を一体化させたソーシャルワークの実践のありようを検討し、ESDには、多様な観点からの取組みが重要であることを発信していく。

## 内容

- ①<2009年3月7日（土）> 六甲ホール  
プレセッション（ユヌス氏、グラミン銀行、賀川豊彦紹介）
- ②<2009年3月8日（日）> 神戸国際会議場
  - ・ミニパネル展（ユヌス氏、グラミン銀行、賀川豊彦をパネルで紹介）
  - ・基調講演：ムハマド・ユヌス氏  
「持続可能な社会づくりとソーシャルビジネス」  
～もうひとつのソーシャルワーク：グラミン銀行が提起する新しい方向～
  - ・講演：阿部志郎氏  
「ESD実践の草分けとしての賀川豊彦」
  - ・対談：「ESDに資するソーシャルワークの現在・過去・未来」  
ムハマド・ユヌス氏、阿部志郎氏、司会 上野谷加代子氏
- ③<2009年3月9日（月）> 六甲ホール
  - ・ワークショップ「ユヌス氏を囲んで本音でトーク」